

全体版の概要 埼玉県四半期経営動向調査(平成18年7～9月期)

I 調査結果の総括

県内中小企業の経営動向は、緩やかな回復の動きが続いている。

(景況感が2期ぶりに改善した。景況感DI：前期 ▲41.8 → 当期 ▲39.3)
今後については、先行き不透明感が強いものの、改善する見通しである。

(1) アンケート調査結果から

○経営者の景況感

【県内中小企業の景況感DI】

▲39.3で、前期比2.5ポイント上昇。2期ぶりに改善。

<業種別にみた景況感DI>

【製造業】

▲29.5で、前期比1.9ポイント上昇。2期ぶりに改善。

「金属製品」や「鉄鋼業・非鉄金属」などの7業種で改善。

「精密機械器具」や「家具・装備品」などの5業種は悪化。

【非製造業】

▲47.3で、前期比3.6ポイント上昇。2期ぶりに改善。

「運輸・倉庫」、「建設業」、「情報サービス業」及び「卸売・

小売業」の4業種で改善。

「飲食店」、「不動産業」及び「サービス業」の3業種は悪化。

○売上げ／2期連続で改善。来期も引き続き改善する見通し。

○資金繰り・採算／2期ぶりに悪化。来期は改善する見通し。

○設備投資／実施率は2期ぶりに上昇。来期は低下する見通し。

(2) ヒアリング調査結果から

○景況感

【製造業】 金属製品及び一般機械では上向いており、輸送用機械器具及びプラスチック製品ではおおむね横ばいで推移している。

【小売業】 弱含んでいるが、一部で明るい兆しがみられる。

【情報サービス業】 上向いている。

II 調査要領

本調査は四半期毎に実施している。

(1) 調査対象

(2)調査方法

① アンケート調査・・・景況感など、特別調査事項

・ 製造業 : 960企業中、回答数 646企業 (回答率67.3%)

・ 非製造業※ : 1,240企業中、回答数 794企業 (回答率64.0%)

計 : 2,200企業中、回答数1,440企業 (回答率65.5%)

※製造業(12業種) : 食料品、衣服・その他の繊維製品、家具・装備品、
パルプ・紙・紙加工品、印刷・出版、プラスチック製品、
鉄鋼業・非鉄金属、金属製品、一般機械器具、電気機械器具、
輸送用機械器具、精密機械器具

※非製造業(7業種) : 建設業、卸売・小売業、飲食店、情報サービス業、
運輸・倉庫、不動産業、サービス業

②ヒアリング調査

・ 製造業 : 23企業・組合

・ 小売業 : 9企業・商店街

・ 情報サービス業 : 3企業

計 : 35企業等

(3)調査対象期間

平成18年7～9月(調査時期:平成18年9月)

(4)実施機関

埼玉県産業労働部産業労働政策課及び埼玉県産業労働センター

Ⅲ 調査結果概要

1 アンケート調査結果の概況

※ DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは、例えば「好況」と回答した企業割合から「不況」と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことである。

〈例〉「好況」7.0% 「普通」44.0% 「不況」49.0%

$$DI = 7.0\% - 49.0\% = \blacktriangle 42.0$$

(1) 経営者の景況感と今後の景気見通し

「景況感は2期ぶりに改善した。今後の見通しについては、先行き不透明感が強いものの、後退懸念がやや低下した。」

業種別にみると、製造業、非製造業ともに2期ぶりに改善した。

〈景況感DI:前期→当期(前年同期)〉

・ 全体: $\blacktriangle 41.8 \rightarrow \blacktriangle 39.3$ ($\blacktriangle 47.5$)

- ・製造業：▲31.4 → ▲29.5 (▲38.0)
- ・非製造業：▲50.9 → ▲47.3 (▲54.4)

〈「良い方向に向かう」と回答した企業割合：前期→当期〉

- ・全体：9.5% → 10.4%
- ・製造業：8.6% → 11.5%
- ・非製造業：10.2% → 9.5%

〈「悪い方向に向かう」と回答した企業割合：前期→当期〉

- ・全体：21.9% → 20.9%
- ・製造業：20.7% → 20.7%
- ・非製造業：22.9% → 21.0%

(2) 売上げについて

「2期連続で改善し、来期も引き続き改善する見通しである。」

当期の売上げDIは、製造業は2期ぶりに悪化したが、非製造業は3期ぶりに改善した。
来期については、製造業、非製造業ともに当期の売上げDIを上回る見通しである。

〈売上げDI：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：▲11.9 → ▲10.6 (▲14.8) → 8.7
- ・製造業：▲7.6 → ▲8.6 (▲9.7) → 10.5
- ・非製造業：▲15.6 → ▲12.2 (▲18.4) → 7.3

(3) 資金繰りについて

「2期ぶりに悪化したが、来期は改善する見通しである。」

当期の資金繰りDIは、製造業は2期連続で改善したが、非製造業は2期ぶりに悪化した。
来期については、製造業、非製造業ともに当期の資金繰りDIを上回る見通しである。

〈資金繰りDI：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：▲14.9 → ▲16.4 (▲16.6) → ▲7.9
- ・製造業：▲16.2 → ▲11.9 (▲10.2) → ▲7.7
- ・非製造業：▲13.8 → ▲20.1 (▲21.2) → ▲8.1

(4) 採算について

「2期ぶりに悪化したが、来期は改善する見通しである。」

当期の採算DIは、製造業、非製造業ともに2期ぶりに悪化した。
来期については、製造業、非製造業ともに当期の採算DIを上回る見通しである。

〈採算DI：前期 → 当期（前年同期） → 来期〉

- ・全体：▲26.9 → ▲28.9 (▲28.5) → ▲10.0
- ・製造業：▲26.1 → ▲26.7 (▲23.2) → ▲10.9

・非製造業：▲27.6 → ▲30.7 (▲32.2) → ▲ 9.1

(5) 設備投資の動向について

「実施率は、2期ぶりに上昇したが、来期は低下する見通しである。」

実施率は、製造業は3期ぶりに上昇したが、非製造業は2期連続で低下した。

来期については、製造業、非製造業ともに低下する見通しである。

〈設備投資実施率：前 期 → 当 期 (前年同期) → 来 期〉

・全 体 : 26.0% → 26.7% (27.7%) → 21.8%

・製 造 業 : 31.3% → 34.6% (32.8%) → 27.1%

・非製造業 : 21.5% → 20.2% (24.0%) → 17.4%

2 ヒアリング調査結果の概況

(1) 製造業

【景 況 感】金属製品及び一般機械では上向いており、輸送用機械器具及びプラスチック製品ではおおむね横ばいで推移している。

【売 上 げ】前年同期を上回っている業種が多い。

【受注単価】下がった業種もみられたが、多くの業種ではほとんど変わらない。

【採 算 性】原材料価格の上昇や人件費の増加が影響し、悪化した業種が多かった。

【原材料価格】鉄や銅を中心として、上昇したとする業種が多かった。また、原材料の必要な量について、今後確保できるか懸念している企業もあった。

【品目別の状況】医療機器関連が好調であるが、射出成形機関連は減少傾向である。

自動車関連については、好調とする業種と一服感が出ているとする業種に分かれた。

【設備投資】一般機械、輸送用機械器具、電気機械器具及び金属製品を中心に、生産設備の新規導入や更新などを実施した企業がみられた。

(2) 小売業

【景況感】弱含んでいるが、一部で明るい兆しがみられる。

- ・百貨店は、明るい兆しがみられる。
- ・スーパーは、弱い動きがみられる。
- ・商店街は、厳しい状況が続いている。

(3) 情報サービス業 (ソフトウェア業)

【景況感】上向いている。

[このページに関するお問い合わせ先]

産業労働部産業労働政策課 調査分析担当 Tel:048-830-3723 Fax:048-830-4818 E-

[mail:a3710@pref.saitama.lg.jp](mailto:a3710@pref.saitama.lg.jp)